

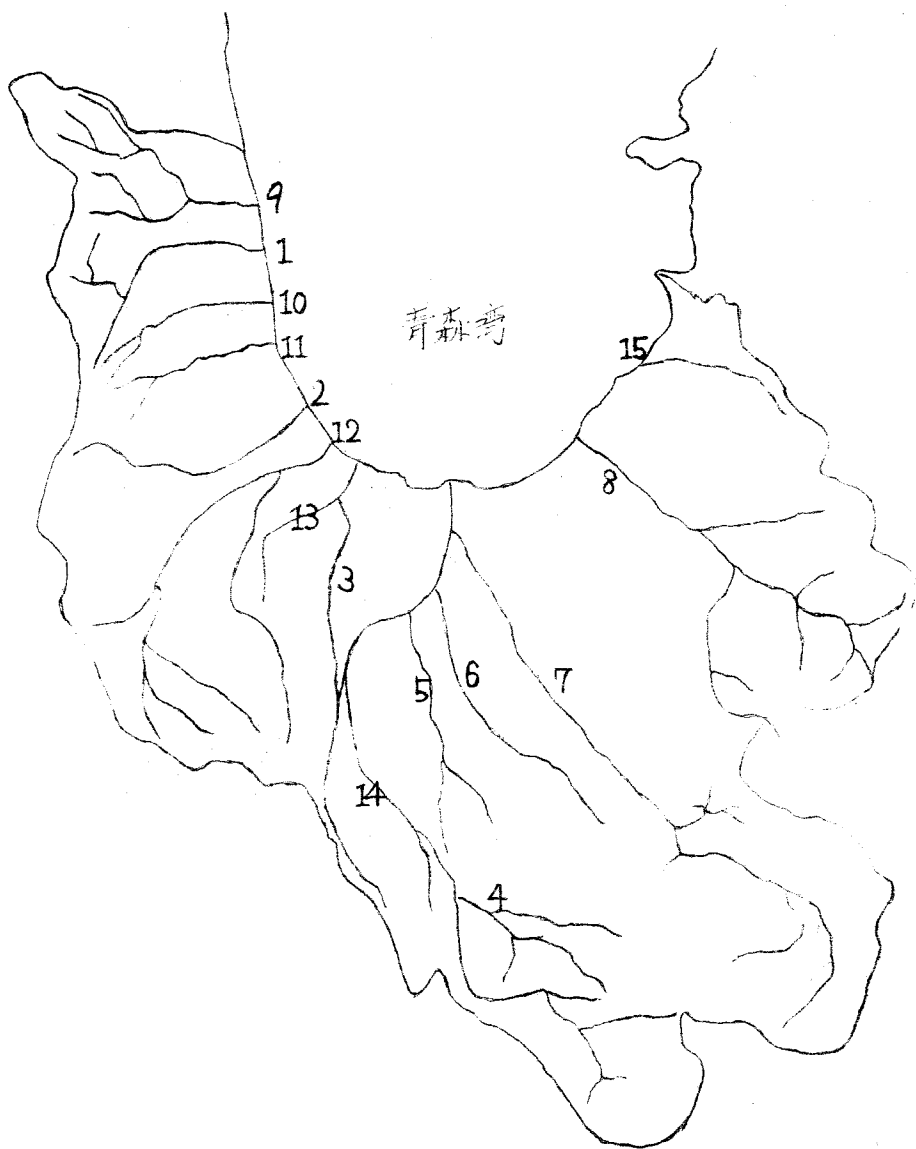
# やぶなべ

青森県立青森高等学校生物部 発行

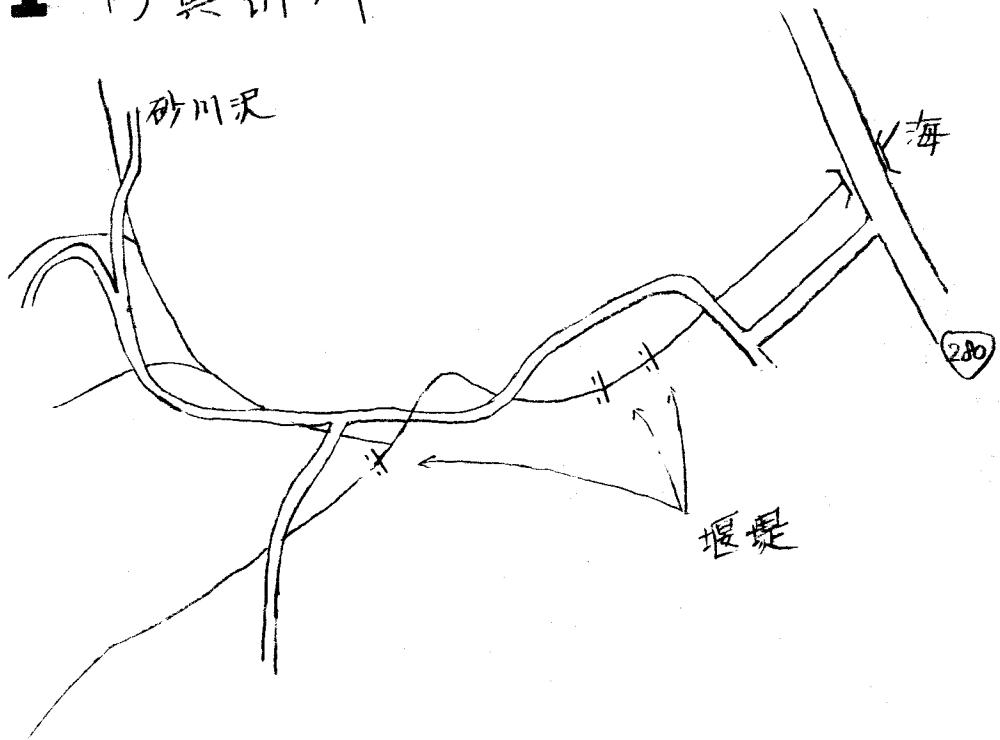
誌名	やぶなべ
号/発行年/頁	29 / 1985 / 8-17
タイトル	青森市内の溪流魚生息場所の分布
著者名	斉藤広宣・中村健吾

自然を見つめる やぶなべ会 (青森)

〔溪流魚生息場所分布圖〕



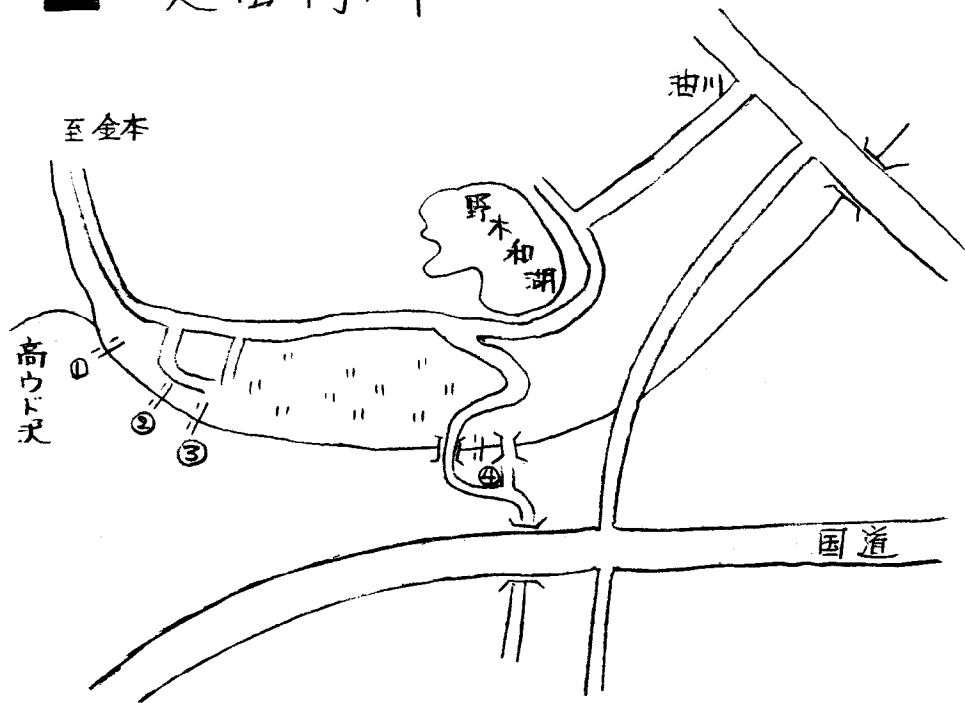
# 1 内真部川



春先には、下流でアママス(20~25cm位)が生息している。雪解け水が流れている頃でも、水温は5℃位で比較的高いので、魚は結構活動している。6月頃には中流あたりで、中型程度のイワナが釣れる。上流でも釣れるが型が小さいようだ。又、このころの魚は、蟻をよく食べていて、腹の中が蟻だけのこともよくある。

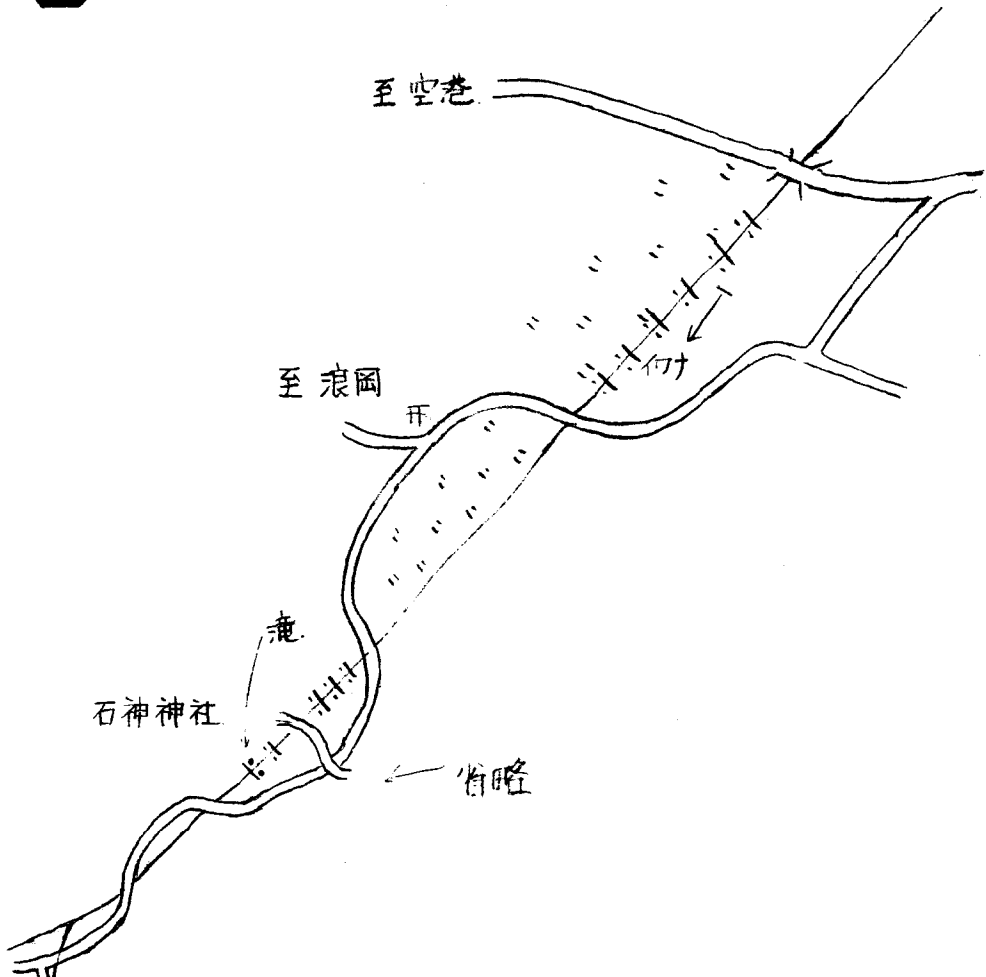
道順は、国道280号線を北上して、奥内駅を過ぎてすぐに眺望山自然体養林入口の標識を左に曲がって行くとよい。

## 2 天田内川



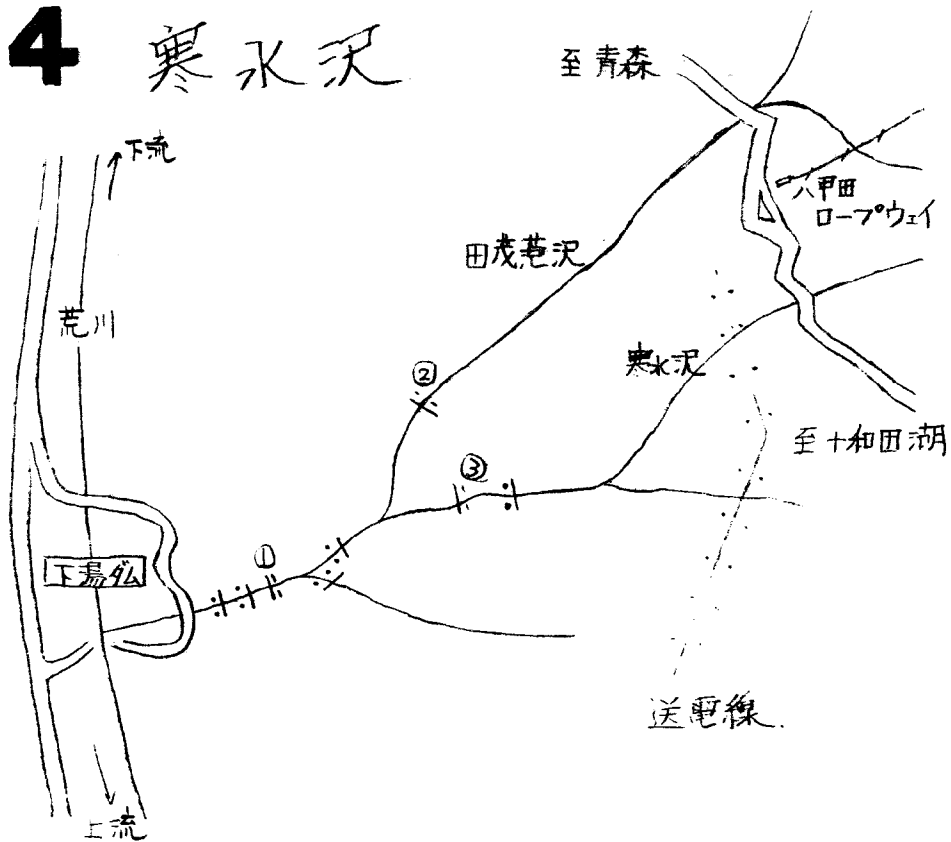
春には川が雪で埋れているので、早期には行かない方がよい。川底には砂が目立ち、川の標高差が少ないせいだが、イワナは少ない。②の堰堤の下にはほんのりも魚がいるが、静かに直ぐかないと、警戒してしまう。又、①の堰堤の下は深くえぐれているので、中型イワナが結構生息している。高ウド沢はこれまでと違って、石や岩盤が目立ち、溪流らしくなってくるが、魚は少なく、型も非常に小さい。又、④の堰堤付近より下流には、ウグイが生息している。

### 3 入内川



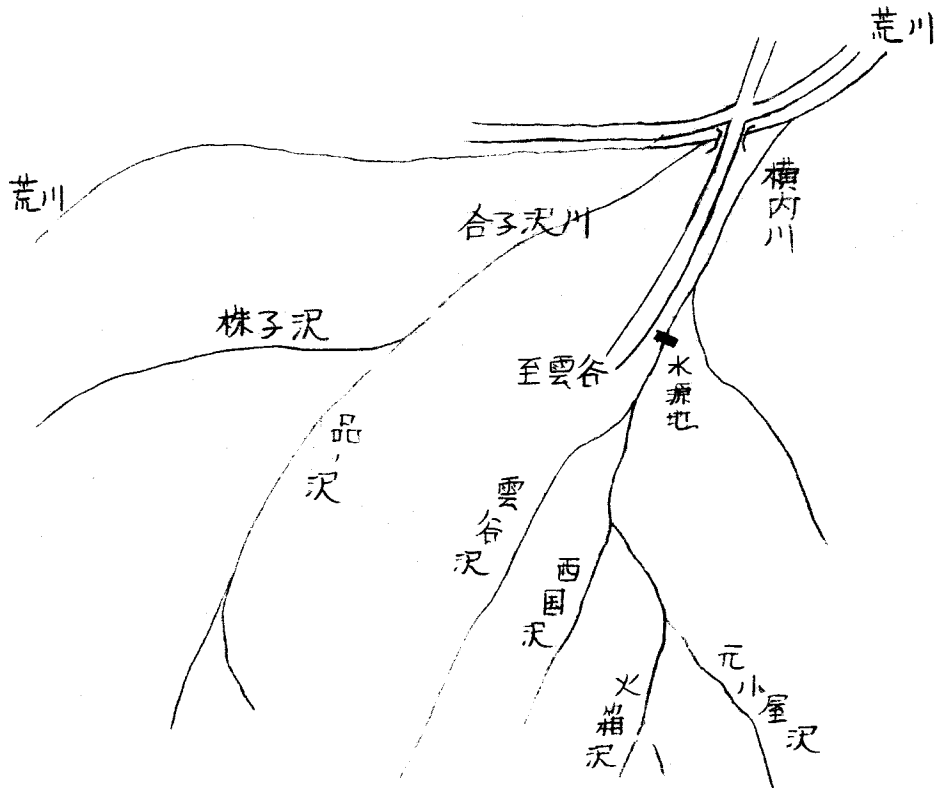
下流の氷田地帯の連続している堰堤のあたりから、イワナがいる。この川は規模が小さいのに、奥が深く、落差も結構あるので、イワナは比較的大棚もいて、数も多い。上流の滝の上にもイワナはいるが、数も少なく型も小さい。

# 4 寒水沢



この川は、非常に氷が澄んでいて、冷たい。荒川との  
 出会いから上流の十和田北線までは、標高差400m位あ  
 り、非常にきつい沢である。イワナは中型が多く、たま  
 に30cmクラスが出る。①と②、③の堰堤で大量の水をと  
 っているの、その下流は水が少ない。滝をまく時は、  
 上流へ向かって左側をまくとよい。又、大柳辺沢にもイ  
 ワナは生息している。また、沢の全域には岩盤の川底や、  
 ナメ滝が目立つ。道順は、空巻に行く道をたどって行き、  
 途中、下湯温泉方向に曲るとよい。

# 5 合子沢川 6 横内川



横内川は、小渓流だが水質がよく、全体に流石は急が  
かであるが、水面が木の枝に覆われている所が多い。  
イワナと放流毛のヤマメ、ニジマスが釣れるが、水源  
地より上流はイワナだけである。又、下流地域では、  
30~50cm位のニジマス、ヤマメが今年はよく釣れた。

合子沢は魚類があるので、遊魚券を買わなければなら  
ない。イワナ、ヤマメ、ニジマスが生息しているが、  
上流では小さなイワナしかいない。

# 7 駒込川

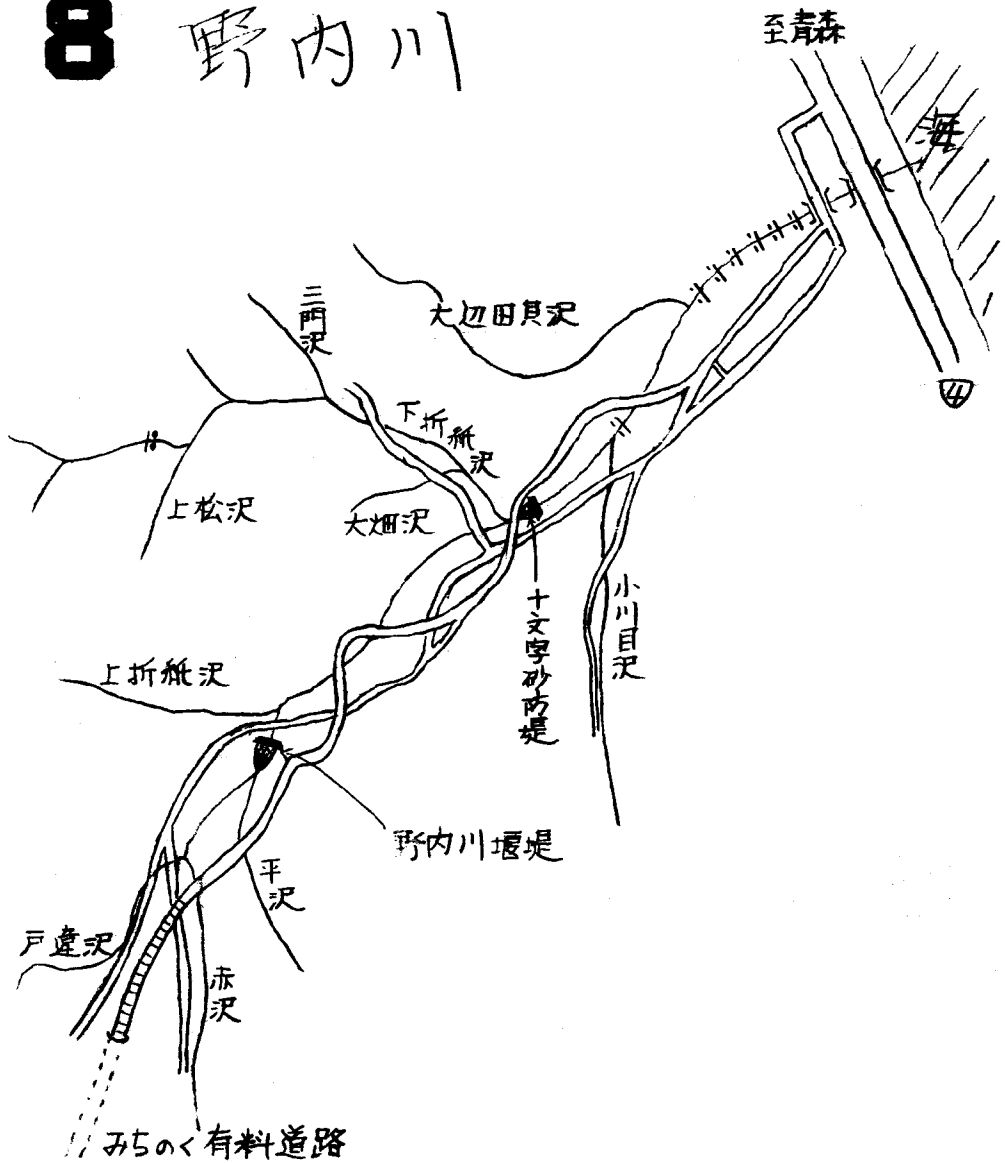
至上北鉾山



駒込川は強酸性の水が流れているので、毒水淵の湯ノ  
沢より下流は魚がない。通称田代川では、イワナ、  
ヤマメ、ニジマスが生息している。又、ニジマスとヤマ  
メの雑種が発生している。田代川は湿原内の遅流とあっ  
て、水中にキンギョ藻が繁茂し、魚影は濃く、型が大き  
い。水は澄んでいて、冷たい。クダリ沼は地下水が湧き  
でて沼を形成していて、夏でも水温は10℃以下である。  
又、駒込川にある七ノ沢、小金沢などの各支流にも、  
イワナが生息している。



# 8 野内川



流経およそ15km. 中規模河川ながら清流として知られ、  
 毎日のように釣り人が入っている。生息魚は多い順に、  
 ウケイ、イワナ、ヤマメ、アユ、ニジマスとなっている。  
 国道の上流には、小さな堰堤が連続している。近くの

養魚場からニジマスが逃げ出して、これらの小型環境に住みついて大型化しているものもある。大込田貝沢流入地点から後流らしくなり、この辺からヤマナが生息しているが、ウグイの方がはるかに多い。ヤマナは主に小川目沢流入地点から、上流の十文字砂防堤までによく生息していて、ひらけた流れになっている。十文字砂防堤より上流は、イワナとごくわずかなヤマメしかいなかったが近年、イワナの数が減少して、小型のヤマメの個体数が非常に多くなってきた。そのほかでは支流の大込田貝沢、小川目沢、下折紙沢、上折紙沢、平沢などにもイワナが生息している。

## 9 六枚橋川

ヤマメ、イワナが生息しており、この辺にしては比較的後流らしい川である。この川については、今後の調査が必要。

## 10 奥内川

イワナが生息しているが、小型が多い。その他は未調査。

## 11 瀬戸子川

奥内川と同じような小さな川。イワナは小型が多いが、たまに大型もある。

## 12 新井田川 (新城川)

川が大きいわりには、後流魚が少なく非常に清い。ウグイ、イワナ、ニジマスがいる。

### 13 沖館川

過去にイワナの死体が確認されたことから、イワナが生息しているものと思われる。他にアブラハヤ、ウグイが生息している。

### 14 荒川

酸ヶ湯温泉より下流は、強酸性の水が流入しているため、魚はいない。しかし源流部にわたる逆川では、イワナが生息している。

### 15 根井川

イワナが生息している。その他は未調査。

以上が主な渓流魚の生息場所ですが、これを詠んだおなさん、特に釣りをする人達にお願いしたいことですが、最近めっきりイワナの数が少なくなっているため、釣った魚はぜひリリースしてもらいたいということです。よく10cm位のイワナやヤマメを渓山釣ってもち帰ったりしている人をよく見かけます。初めのうちほりリリースするのはもったいないと感じるものですが、慣れくると、たいたことではなくなるものです。それから川やその周辺にゴミを捨てないでほしいということです。もし川でゴミを見つけたら、ぜひとも拾ってほしいものです。これらを守るためには、自然の美しさや雄大さなどを知るのがよいと思います。このためにも積極的に野山に行き、釣や沢歩きなどをしてみて下さい。